

令和2年度オリンピック・パラリンピックに関する授業

令和3年1月13日（水）に、自標達成を目指して取り組み、成果を挙げられている方をお招きしました。本来は、全生徒でお話をお聞きする予定でしたが、感染症対策のため、3年生が代表でお話を伺いました。

講師の**高田 千明選手**は生まれたときから視力が弱かったのですが、18歳でほぼ完全に視力を失いました。陸上競技を続けてきていましたので、21歳で視覚障害者陸上競技へ本格的に転向しています。その後、平成28年2月にT11（全盲）クラスで走幅跳の日本記録を樹立し、同年9月、リオデジャネイロパラリンピックで8位入賞。平成29年、世界パラ陸上競技選手権ロンドン大会で日本記録を更新して銀メダル獲得、さらに令和元年、世界パラ陸上競技選手権ドバイ大会において4m69cmで再び自身の日本記録を更新しています（現在も日本記録）。そして、東京パラリンピックの日本代表に内定しています。

大森 盛一さんは、高田選手のコーチです。御自身も平成4年、バルセロナオリンピック日本代表として4×400mRに出場し、平成8年のアトランタオリンピックにも4×400mRで出場し、3分00秒76（現在も日本記録）で5位入賞を果たしています。

講演は、大森さんが高田選手に質問するというスタイルで進められました。ここで高田選手のお答えの一部を御紹介します。

- ・「やるならパラリンピックに出たい」と思い、達成するまでに10年かかったけど諦めなかった。
- ・人との出会いがあったからこそ、ここまでやってこられた。
- ・毎日できることを、こつこつ続けることで力が付く。
- ・「目標は叶う。」と信じ続けることで、実現できる。
- ・「克己心」という言葉を大切にしてきた。その意味は、自分の弱い心に打ち勝つこと。
- ・思っていること、やりたいことは言葉にして、周りの人に伝えることで実現できる。

高田選手の今回の御講演は、3年前に続いて本校で2回目です。前回の御講演で、確かに「東京パラリンピックの代表になる！」と言葉にされ、それが実現につながっています。

ソーシャルディスタンスを保っての御講演でしたが、明るく親しみやすい人柄で、とても近くに感じられ、3年生はメモを取りながら熱心に聞いていました。生徒からの「速く走るコツは？」という質問に高田選手は、「魔法の練習はありませんね。」「毎日どんな練習でも積み重ねることが大事」と、たいへん深く、大切な言葉を伝えてくださいました。

今年度は、宿泊行事や部活動の大会などの中止が続きましたが、お話で生徒も教員も励まされる貴重な時間でした。1年生・2年生には、後日、講演の記録映像を見てもらう予定です。

皆で、高田選手の東京パラリンピックでの金メダル獲得を応援しましょう。

